

委嘱業務完了および実績報告書

資源エネルギー庁「令和 7 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業（エネルギー教育推進事業）地域におけるエネルギー教育実践事業」における令和 7 年 6 月 13 日に委嘱された内容について、委嘱業務の完了と実績を以下の通りご報告いたします。

・委嘱概要

特別委員氏名	山下 信久
委嘱期間	令和 7 年 6 月 13 日～令和 8 年 2 月 28 日
実践タイトル	「社会科を元気にする会」における鹿児島県の地域素材を活用した「エネルギー環境教育」の実践普及活動

・実施事項

1 玄海原子力発電所の施設内見学(8月上旬実施)をとおして、本県にある川内原子力発電所との関係性について見識が深まった。
2 原子力発電所の 3 S + E を念頭に置いて、「高レベル放射性廃棄物の地層処分」まで踏み込んだ授業実践(11月実施)と授業の振り返り勉強会が実施できた。
3 ジオ・サーチゲームの(中学生対象・本会メンバー対象)の実践をとおした、今後の「高レベル放射性廃棄物の地層処分」の授業の在り方分析を深く行うことができた。

・成果

1 玄海原子力発電所の施設見学では、エネルギー環境教育に対する経験の浅い先生にも参加していただき、川内原子力発電所を取り上げた授業を、本県で行う必要性について、理解が深まった。
2 島国「日本」の置かれた諸条件を鑑みた場合、各発電システムのメリット、デメリットを、どのように中学生に考えさせたらいいのか、また、「高レベル放射性廃棄物の地層処分」を自分事として考えさせる必要性について、本会メンバーがさらに強く認識した。
3 ジオ・サーチゲームについては、今後、教師になりたい大学生にも参加してもらい長年、本会で研修を積んでいるコア・メンバーと意見交換を行うことで、より高い目標まで、内容を深めることができた。

・今後への課題

1 昨年度から、大学生や 20～30 代の先生方や女性の先生方の入会が、少しずつではあるが増えてきた。10 周年目を過ぎようとしている本会の更なるメンバー拡大を図っていききたい。
2 他地域の勉強会との交流も数年に 1 回実施できているが、より継続した取組にして知見を広めていききたい。
3 勉強会に参加するだけでなく、実践授業に取り組む教師を増やし、学習指導案の再考や授業研究の充実を図って、中学生に還元していききたい。

